



にほんぶんかきょうしつ
日本文化教室 No.13

こくさいきょういく 国際教育センターでは、がいこくじんにゅうがくせい 外国人留学生がにほん でんどうぶんか 日本传统文化に直接ふれ、にほん への理解をよりふか 深めることを目的とし、2003年度からにほんぶんか きょうしつ 日本文化教室を実施しています。にほんじんがくせい 日本人学生もさんか 参加し、がいこくじんにゅうがくせい 外国人留学生とにほんじんがくせい 日本人学生がいっしょ にほんぶんか 日本文化をたいけん 体験することで、そうごこうりゅう 相互交流を図るとともにグローバルなしてん み 視点を身につけてほしいとねが 願っています。

こときょうしつ
お箏教室



きょうしつ
きもの教室



こうどうきょうしつ
香道教室



いばなきょうしつ
生け花教室



ねき
練り切り



グローバル時代は言語と文化を越え、世界の人々が共生することが求められる時代です。国際教育センターも留学生と日本人学生のみなさんがお互いの言語と文化を理解し、共生できるようになるためのお手伝いができればと考えています。

この日本文化教室も、日本の文化について単なる知識ではなく、実践を通して理解することができるよう、実施しているものです。最近では学内の部・サークルの協力も得て、交流的な意味合いも加味しながら実施されています。そこには単に文化の理解だけでなく、言語と文化を越えた協働の促進と共生の実現といった願いが込められています。

この冊子はこれまでの活動を紹介したものです。一人でも多くの留学生のみなさんに参加してもらえればと思っています。みなさんのご参加を心からお待ちしています。

生け花教室

いばな きょうしつ 生け花教室

生け花(華道)は、16世紀ごろから盛んになった日本の伝統的な芸術の1つです。自然の花を使って天(宇宙)、地(地球)、人の3要素をバランスよく表現する、という考え方が基本です。しかし、いけ方は華道流派によって異なります。

国際教育センターでは、2004年度から生け花教室を始めました。毎回、その季節のお花を使って基本的ないけ方を先生から教えてもらいます。また、上級者用の花材で先生が応用編をご披露して下さったり、参加者にも大変好評な教室です。



ぜんこうき 前・後期



こうし あかいけふさこ りゅうか せんせい 講師 赤池房子(柳華)先生

●プロフィール

げんざい ざいだんほうじんおはらりゅうほんぶ ぶくきょうむ かわさき 現在、財団法人小原流本部 副教務、川崎
しぶ しぶちよう けっこん きぎほ かどう 支部 支部長。結婚を機に、義母が華道
きょうじゆ かどう はじ やく 教授だったことから華道を始め、約45
ねん ほんがくかどうぶ こうし ふく ながねん 年。本学華道部の講師などを含め、長年
にわたり華道に携わっている。
しゆみ え りよこう どくしよ 趣味 ちぎり絵、旅行、読書。

★講師の先生にインタビューしました！

Q：華道の魅力を一言でいうと何ですか。

A：色彩的な調和や対比の美しさを表現したり、季節感をふまえて対象とする空間を虚構をまじえて表現すること。

Q：留学生に日本文化を紹介する意義は何ですか。

A：皆様がそれぞれの国に帰り、生け花の事を話題にして頂けることです。

Q：参加者の作品はどうですか。

A：初めて体験して活けたのを見て、とてもセンスのある様に見うけました。

Q：参加者の印象はどうですか。

A：皆さんがとても楽しそうに活けているので教えていて“ホッ”とします。

Q：教えてみて難しいと感じる点は何ですか。

A：一回だけの指導なので、内容的に理解してもらえたかどうか疑問です。

Q：教えてみておもしろいと感じる点は何ですか。

A：それぞれとても個性のある活け方をするので感心します。

Q：この文化教室の魅力は何ですか。

A：色々な国の方々と会話ができる事です。

Q：今後この文化教室で挑戦してみたいことがあれば教えてください。

A：花材もいろいろ取り揃えて各自好きに活け、それぞれ講評しあってはと思います。

Q：華道に関するおすすめの本や、サイトがあれば教えてください。

A：書籍 梅のいけばな 小原流いけばな双書4
小原流出版事業部
小原流いけばな基本マニュアル 小原流いけばな双書13
小原流出版事業部
月刊誌 挿花
隔月刊誌 桔梗

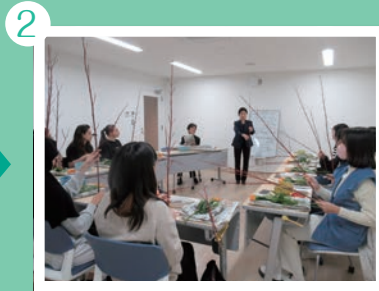
WEB いけばな小原流 <http://www.ohararyu.or.jp/>

とうじつ ようす 当日の様子

当日の様子



さいしょ いばな ついて せんせい
最初に生け花について先生が
せつめい くだ
説明して下さいます。



せんせい いっしょ いばし
先生と一緒に活け始めます。



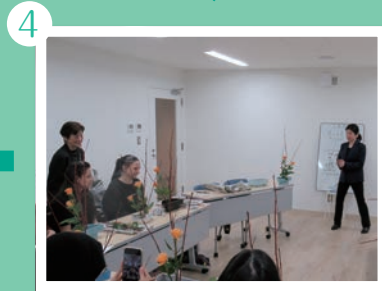
ひとりひとり ていねい おし
一人一人に、丁寧に教えて
くだ
下さいます。



さいご せんせい おうようへん ひろう
最後に先生が応用編を披露
してくだ
下さいます。



「かたむけるかたち」にもちょうせん
します!



「たてるかたち」が出来上がりました。

さんかしゃ こえ 参加者の声

※参加者の声をそのまま掲載しています



せい か じゅぎょう
生花授業でやって、とてもたのしかったです。じかん みじか
時間が短すぎてしまいました。せんせい くわ
先生が詳しくて優しい日本語を説明したので、よく分かりました。もっと練習したいです。



じっさい いばな たいけん
実際に生け花を体験できる機会があつてすごく嬉しかったです。せんせい
先生やスタッフさんもやさしく、いろいろべんきょう
優しく、色々勉強になりました。いばな
生け花をやってみて、いばな
生け花のことが好きになってきました!



じぶん
自分でやってみたり、けいけんしゃ
経験者からアドバイスをもらったりして、きょう かつどう
今日の活動はとてもたの
しかったです。



きもの教室

きもの教室

着物はここ数百年全く形が変わっておらず、日常着としての機能はほとんど失われてしまいました。しかし、最近「和の美」として見直され、若い人々のあいだで人気復活しています。

国際教育センターでは、2005年から着付け教室（現きもの教室）を始めました。前期は名古屋帯と浴衣、後期は名古屋帯を使った着付けを通して、日本の伝統文化を体験しています。難しく思われる着付けですが、講師とアシスタントの丁寧な指導で、みなさん満足いく仕上がりになります。毎回、写真撮影で盛り上がっています。



ぜんこうき
前・後期

こうし が べけい こせんせい
講師 我部敬子先生

●プロフィール

中学の時に始めた茶道をきっかけに着物好きに。装道きもの学院で着付けを習得。きもの教室主宰、婚礼や写真館・CM撮影の着付け等、きものに携わること40年以上。お茶の水女子大学卒。本学着付け同好会講師。著書に『衣の歳時記』（東京四季出版）。趣味は俳句、歌を歌うこと。

★講師の先生にインタビューしました！

Q：着付けを始めたきっかけは？

A：きもの学院の授業が面白く、自分が着るだけでなく人に着せたいと思った。

Q：着物の魅力は？

A：着物には日本文化の繊細な美意識が集約されている。染め、織、刺繍などの高度な技術と、帯や小物のコーディネートによって季節を感じられるところ。

Q：留学生に着付けを教えていて嬉しいことは？

A：初めての着物に奮闘し、綺麗に仕上がって笑顔がこぼれる瞬間。

Q：留学生の皆さんに向けて、着物やゆかたをアピールしてください。

A：着物は日本の民族衣装ですが、どの国の方が着ても似合う衣服です。形は同じでも、柄や色のバリエーションは無限でしょう。機会があれば是非お気に入りを見つけ、着て楽しんでください。

Q：最後にメッセージをどうぞ。

A：着物は日本では衰退の一途を辿っていましたが、外国の方の着物に対する評価によって、新たな価値が生まれてきているように思います。文化の交流は本当に大切で、留学生の皆さんもお国に帰って着物のことを伝えて下さい。そしてみなさんの故国の民族衣装も私たちに紹介してください。

とうじつ ようす
当日の様子

とうじつ
の
ようす
の様子



さいしょ きもの れきし について せつめい
最初に着物の歴史について説明を受けます。



せんせい しどうのもと、ひと
先生のご指導のもと、一つずつ帯を締めていきます。



むずかしいところやうしろ側はせんせい
難しいところや後ろ側は先生が手伝ってくださいます。



きつ かんせい
着付けの完成です。



さいご せんせい
最後は先生がきれいに整えてくださいます。



おびむす しあげ
帯結びの仕上げです。

さんかしゃ こえ
参加者の声

さんかしゃ こえ
※参加者の声をそのまま掲載しています



たの ちかた き しあわ
とても楽しかった！かわいい浴衣を着て幸せになりました。



せんせい かた やさ ていねい おし
先生もアシスタントの方もとても優しく丁寧に教えてくれて、着物についてたくさん勉強できました。着る過程が大変だったんですが綺麗に着られて嬉しいです。



きょうしつ べんきょう ようい きもの せんせい ていねい せつめい
教室はとても勉強になりました！用意された着物もとてもきれいで、先生も丁寧に説明してくれました。写真もたくさん撮れてよかったです！



書道教室

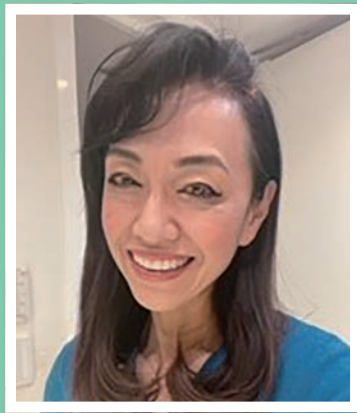
書道教室

書道は、筆と墨で文字を書く芸術です。もともと中国から伝わったものですが、日本では漢字に仮名文字を組み合わせて独自の発展をしました。現代では日常生活で筆を使うことは多くありませんが、小学校の授業や習い事といった形で人々に親しまれています。

国際教育センターでは、2003年度後期より書道教室が開かれています。基本的な練習の他に、前期は色紙に、後期は長い紙に書く書き初めにも挑戦しています。



ぜんこうき 前・後期



講師 赤木美香先生

●プロフィール

書道教室を開いている書家の叔母の影響を受け、5歳で書道を習い始める。師範の資格を持っており、国際教育センターの書道教室を担当している。趣味は、クラシック音楽演奏と鑑賞、特にバッハが好き。それから食べること。

★講師の先生にインタビューしました！

Q：書道の魅力を一言でいうと何ですか。

A：集中した時間の中で、お手本（文字）に対し忠実に点画の細部までこだわり書くこと。

Q：留学生に日本文化を紹介する意義は何ですか。

A：書道を通して、日本文化を知ることにより、異なる文化で育った自分（留学生自身）とも向き合うことが可能です。

Q：参加者の作品はどうか。

A：基本点画をしっかりと押さえても、縮こまらない、伸びやかな作品です。

Q：参加者の印象はどうか。

A：研究に打ち込む姿勢と似ていると思いました。お手本の文字を理解し、解釈をした後に書き出す作業は、論文執筆と異種同類だと思います。

Q：教えてみて難しいと感じる点は何ですか。

A：正しい姿勢で呼吸を取りながら書くと良い作品ができますが、それはとても難しいです。

Q：教えてみておもしろいと感じる点は何ですか。

A：国により、漢字の受け止め方が異なるところと、テーマ選択が斬新で、新鮮です。

Q：この文化教室の魅力は何ですか。

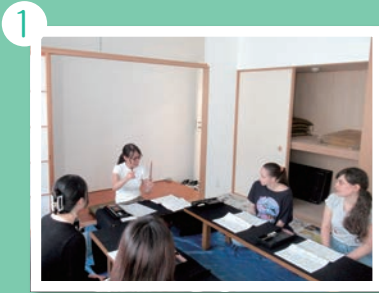
A：いろいろな国の人々が、書道を通して、理解、評価し合ったりできることだと思います。

Q：今後この文化教室で挑戦してみたいことがあれば教えてください。

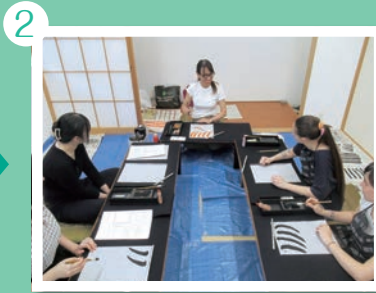
A：臨書（歴史上に古典として残る名筆を模倣すること）やTシャツに作品を書くなどです。

とうじつ ようす
当日の様子

当日の様子



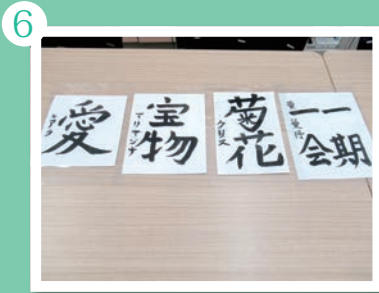
せんせい ふで つか かた おし くだ
先生が筆の使い方を教えて下さいます。



き ほんてき か かた はんし れんしゅう
基本的な書き方を半紙で練習します。



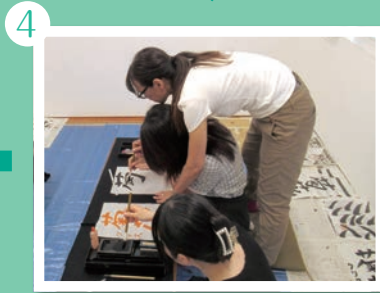
せんせい てほん す
先生のお手本をみながら、好きな文字や言葉を書きます。



さいご せいしょ さくひん かん
最後に清書をして、作品が完成！



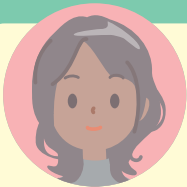
れんしゅう
たくさん練習しました。



しんけん ひょうじょう と く
真剣な表情で取り組みます。

さんかしゃ こえ
参加者の声

※参加者の声をそのまま掲載しています



とても楽しかったと思います。書道が好きなので、書道についてもっと勉強になって嬉しいです！ 今日、どうもありがとうございました！（*^^*）



とても楽しかったよ！赤木先生が大好きです。



赤木先生の教え方はわかりやすかったなので、私も皆が直ぐに上手く書かれるようになったと思います。アシスタントさんも可愛いと思います。そして書道について、やっぱり字のバランスを取るのには難しかったと思いますが、楽しかった教室でした！！



この書道教室はとても楽しくて面白かった経験でした。漢字に興味がありますのでチャレンジしました。実際に書道は思ったより難しくても先生はとても優しくてすべてのことをよく教えて手伝ってくれました。そろそろこんな良い経験をできるといいですね。

茶道教室

茶 道 教 室

茶道は、茶を通して礼儀作法を修める道です。ただお茶を点てるのではなく、建築、工芸、生け花、料理などと結びついた総合芸術といわれる奥の深い世界です。表千家を中心に42流派ほどありますが、学んでいる人数が最も多いのは裏千家です。

国際教育センターでは、お茶の水女子大学の裏千家茶道部のご協力を得て、茶道教室を2011年から始めました。庭園の中に建つ伝統的な茶室で行われるため、本格的な茶道体験ができると好評です。



ぜんこうき 前・後期



講師 吉田啓子 (宗風) 先生

●プロフィール

裏千家茶道 正教授。

祖母、母が裏千家茶道に修道していたこと、また茶道の奥深さに興味を持ったことから習い始め、約16年。

趣味 読書、映画鑑賞など。

★講師の先生にインタビューしました！

Q：茶道の魅力を一言でいうと何ですか。

A：茶道は、日本の総合文化です。また、茶道を学ぶことでよりよく生きるための道筋が示されるような気がします。

Q：文化教室の魅力はどんなことだと思われませんか。

A：茶道を知っていただけることは意義のあることです。所作のひとつひとつに深い意味があることを理解していただくのは、短時間では難しいです。今後、より深い理解のために、時間を作ってもらえたらうれしいです。

Q：今まで教えられた中で、思い出深いエピソードなどありましたら教えてください。

A：茶道とは、ただ湯を沸かし茶を点てるだけのことですが、その基には合理性と科学的な洞察があります。アインシュタインが、炭手前で湿った灰をまくのを見て、物理の原理に基づく叡智に感心したそうです。これを聞き、日本人として誇りさえ感じました。

Q：茶道に関するおすすめの本や、サイトがあれば教えてください。

WEB：裏千家 今日庵 <http://www.urasenke.or.jp>

当日のアシスタントを務められた日本人学生からお聞きしました。

Q：難しいと感じた点はどんなことでしたか。

A：日本人にとっても馴染みのない言葉や所作を、どのように説明したら誤解なく伝わるかということです。

Q：おもしろい、興味深いと感じた点はどんなことですか。

A：薄茶を点てる体験をしていただく時、全員がうれしそうにやってくれたことが、とてもうれしく、印象深かったです。

Q：参加者の様子をご覧になって、どんな感想を持たれましたか。

A：限られた時間でしたが、茶道に触れてその良さを感じていただけたと思います。

とうじつ ようす
当日の様子

当日の様子



1 さどう れきし などについて説明
させていただきます。



2 てまえ かいせつ
お点前を解説してくださ
います。



4 こんど じぶん た
今度は自分で点ててみます。



3 きほう
作法にならって、お茶をいただ
きます。

さんかしゃ こえ
参加者の声

※参加者の声をそのまま掲載しています



たいけん
いい体験でした!



おもしろ
面白かった。



おもしろかった! 茶道部の学生たちもたくさん話してて楽しかった



ちょっとつか
疲れちゃいましたが、茶道について色々勉強になりました! 茶道部の皆さんは
とてもしんせつ
親切でした。ありがとうございます♪



じっさい ちゃせき さんか
実際に茶席に参加してから、お茶を点てる体験ができてとて
もたの
楽しかったです。



すごくいいたいけん
経験になりました! 茶道部員さんのみなさんは
すごくやさしく、お茶もお菓子も美味しかったです。こん
なちか
近くで本物の茶道をみれて、実際に自分でやる機会も
あつて、いい活動だなと思います。



Ochas 食文化教室

ぜん 前期

オチャスしよくぶんかきょうしつ Ochas食文化教室

オチャスしよくぶんかきょうしつでは、お茶の水女子大学公認の食に関する学生ボランティア団体であるオチャスと協力し、日本食を作ることで日本文化を学びます。

食を通じてOchasの日本人学生と交流し、友達作りの機会を得ることで、より身近に日本文化を感じることができます。



参加者の声 ※参加者の声をそのまま掲載しています



日本の学生さんと一緒に団子を作ったり話したりして、楽しかったです。ありがとうございます！(留学生)



すごく楽しかったです！お茶大の学生さんの皆さんも優しく、色々話しかけてくれて素敵な団子作り会でした！今日は初めてずんだ団子を食べれて美味しかったですし、団子の作り方も学べて、今度も自分で作りたと思います！次もこういう活動があったら、参加させていただきます！(留学生)



今日のイベント本当に楽しかった！企画してくれてありがとうございます！(留学生)



普段話せない留学生の方とお話できて楽しかったです！(日本人学生)



まんが教室

日本は漫画とアニメーションがとても発達した国です。多くの留学生が日本の漫画とアニメーションを通して日本に興味を持ち始めます。

国際教育センターでは、2018年度前期から新たにまんが教室を始めました。漫画研究会の部員と一緒に好きなキャラクターを描きながら楽しい時間を過ごしました。

参加者の声

※参加者の声をそのまま掲載しています



マンガ好きな方と交流できて嬉しかったです！(留学生)



みんなで一緒に好きなアニメとゲームを話しながら絵を描くことはとても嬉しいです！(留学生)



普段留学生の方とお話する機会がなかったため、とても楽しかったです！(日本人学生)

かぶきべんきょうかい 歌舞伎勉強会

歌舞伎は日本の伝統演劇の一つで、1603年頃出雲大社の巫女・阿国が京都で念仏踊りを興行したのが初めとされています。

お茶の水女子大学には、年に一回(6月頃)、留学生向けの歌舞伎鑑賞教室があります。そこで国際教育センターでは、その歌舞伎鑑賞教室をより楽しめるよう、事前に歌舞伎勉強会を開いています。勉強会は、鑑賞教室に行かない学生でも参加できるので、たくさんの学生でにぎわいます。

ビデオを見ながら、歌舞伎の歴史や鑑賞のしかた、そして鑑賞教室の演目について、登場人物やあらすじなどを勉強します。

初心者にとって歌舞伎のことを知るよい機会となっています。

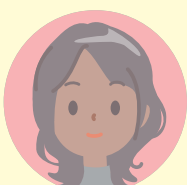


参加者の声

※参加者の声をそのまま掲載しています



歌舞伎について何も知りませんでしたが、わかりやすく概要を理解することができてよかったです！とても面白く、当日が楽しみになりました！(日本人学生)



日本の伝統芸能に興味を持っているので、昔は歌舞伎のことについて自分なりにネットで調べてみましたが、資料を読んでも、ちゃんと理解していなかったです。しかし、歌舞伎勉強会での資料はちゃんとまとめていて、動画にも説明していただけるので、とても分かりやすくて、今後歌舞伎の面白さをより一層味わえると思います。(留学生)

まんが教室・歌舞伎勉強会

後期

香道教室

前期

香道教室

香道は、茶道・華道とならぶ日本の三大芸道のひとつです。国際教育センターの香道教室では、日本文化の中での香道の歴史に触れたり、実際に香りを聞いたり、匂袋を作成したりして、香道の魅力を学ぶことができます。



講師 嶋田華子先生

プロフィール

お茶の水女子大学卒業、東京大学大学院修士課程修了。

カルチャー教室や学校の伝統文化体験授業などを通じて、御家流香道の普及に努める。

また美術史家として、国内外の美術館にて展覧会の企画運営、テレビ出演、雑誌・新聞の記事執筆多数。

HP: www.haginosono.com

★講師の先生にインタビューしました！

Q：先生が香道を始められたきっかけは何ですか。

A：御家流香道宗家・三條西堯山を曾祖父に持ち、10代から祖母の香道教室の準備を手伝っていました。大学生になり、現宗家のお稽古に通い始めました。卒業論文では、上代・中古の香と服飾文化の関わりをテーマにしました。

Q：香道の魅力を一言で表すと何ですか。

A：素晴らしい香りを聞くことで、心身が休まる同時に、嗅覚に意識が集中するので、感覚が研ぎ澄まされるところが魅力です。メンタルヘルスを整えるだけではなく、古式ゆかしい香道具に触れたり、その日の組香のテーマになっている和歌や銘など、美しい日本語の語彙を増やすこともできるのも楽しみです。

Q：教えてみて楽しいと感じる点がありますか。

A：初めて体験される方から、お香って面白いですね、と興味を持って頂けると嬉しいです。また年齢やバックグラウンドが異なるメンバーでも、同じ香炉を囲んで豊かな時間をシェアできるのが楽しいですね。

Q：お茶大の学生へメッセージをお願いします。

A：緑あふれるキャンパスで過ごす時間を楽しんでください！他大学ではオフィスビルのような建物のところも多いですし、社会人になると四季の移ろいを感じる機会が少なくなるため、お茶大の豊かな自然はとても貴重です。幼稚園の大銀杏や蓬、徽音堂前の金木犀、もう整備されてしまいましたが学生課前のイタドリ広場をはじめ、帰り道に落ちていた桑の葉の鮮やかさなど、今でも懐かしく思い出します。

とうじつ ようす
当日の様子

1



こうどう れきし でんどう について 学
びます。

3



においぶくろ つく
匂袋を作ってみました。

2



じっさい かお き
実際に香りを聞いてみます。
こう どう かお かぐ こと
香道では香りを「嗅ぐ」こと
を「聞く」と表します。

とうじつ
の
ようす
の様子

さんかしゃ こえ
参加者の声

※参加者の声をそのまま掲載しています



せんせい こう
先生がお香についてたくさん教えてくださって、たいへんべんきょう
大変勉強になりました。せいさくたいけん ぶ
製作体験の部
ぶんも いろ いろ におを かいでみて、す かな かお つく
分も、色々なお香を嗅いでみて、好きな香りを作るのがとてもおもしろかったです。



こう どう れきし し
香道の歴史を知りました。そしてじっさい こうづか つく
実際に香包を作りました。とてもおもしろくて、いいたいけん
です。



とてもいいけいけんになりました。こう どう はじめて し っ て、にほん き
とてもいい経験になりました。香道は初めて知って、日本の聞いたことない文化を勉強
できて嬉しかったです。せんせい でんどうぶん か かお
先生の伝統文化の香りのことや歴史の説明も聞きやすくて、実
さい じぶん だけの かも つく たの
際に自分だけの香も作られて楽しかったです。



こう どう じゅぎょう は とても たの しか っ た だ っ て す。いろ いろ な こと ば れきし について べんきょう
香道の授業はとても楽しかったです。色々な言葉や歴史について勉強しました。そし
てこう どう れんしゅう
て香道を練習してうれしいです。

練り切り教室

後期

練り切り教室

練り切りは、白餡とつなぎの求肥などを混ぜ合わせた生地から作られる日本の伝統的な和菓子のひとつです。練り切りの特徴の一つは、季節を表現した美しいデザインで『食べる芸術』とも言われています。春には桜や梅、秋には紅葉や菊といった四季折々の花や自然のモチーフ、また、節句や祝い事に合わせて、鶴や亀などの縁起の良いデザインが施されます。茶道の世界でも高く評価され、現代でも多くの人々に愛されています。



講師 日高千恵先生

プロフィール

練り切り専門教室HALE認定講師・アート和菓子莉和華認定講師

小さい頃からものづくりが好きで大学卒業後は住宅に関わる仕事もしていたこともあり、インテリアや雑貨、うつわなどへの興味を持ち、陶芸を習ったことも。ある時、知人の作った美しい練り切りを見てひとめぼれし、自分で作ってみたいところすっかりその魅力にはまり今では教室を開くまでに練り切りを通じて日本の文化や和菓子作りの楽しさなど、多くの人に伝えたい。

★講師の先生にインタビューしました！

Q：練り切りに惹かれた理由は何でしたか。

A：見た目の美しさ、特に日本古来の侘び寂びを感じられるデザインと色合い、そして美味しく、人様に差し上げて喜ばれるところ。

Q：練り切りの魅力を一言でいうと何ですか。

A：制作するのにいろいろな技法があり、やればやるほど奥の深さを感じるところ。また古くからある日本文化に触れることができるというのも魅力のひとつです。

Q：参加者の印象はどうですか。

A：皆さん真面目で素直で一生懸命作って下さり嬉しかったです。ただ聞いているだけでなくわからない点はきちんと質問してくれて上手に作りたという向上心を感じました。

Q：参加者の作品はどうですか。

A：うさぎ、柿までは順調にいましたが、菊については押し棒の使い方が少し難しかったようで、う

まく模様が出なかった生徒さんもいらっしゃいました。少し練習の時間をとれば良かったと思います。でも皆さんとても初めてとは思えないくらい作品ばかりで練り切りの集合写真は圧巻でした

Q：教えてみて難しいと感じる点はありますか。

A：細かい作業内容を出来るだけやさしくわかりやすい言葉で説明することが難しかったです。

Q：教えてみておもしろいと感じる点はありますか。

A：皆さん素直で一生懸命なので、少しアドバイスするとどんどん上達されるところが面白いというか嬉しかったです。

Q：今後この文化教室で挑戦してみたいことや参加者の留學生に伝えたいことがあれば教えてください。

A：練り切りといえば茶道…茶道とのコラボが出来たらいいなと思います！ご自身で淹れたお抹茶（お濃茶）とご自身で作った練り切りとの味のハーモニーも感じていただきたい。そしてより茶道と練り切りの知識を深めていただければと思います。

当日の様子

1



講師が練り切りの由来や特徴について簡単に説明します。

2



生地をよく練って、外餡を広げます。

4



包んだら、形を整えて、指や棒で模様を作ったり、飾り付けをします。

3



中餡を外餡で包みます。

当日の様子

参加者の声

※参加者の声をそのまま掲載しています



めっちゃ楽しかった！
もっとやりたいです。



とても嬉しいです。先生は優しいです。お菓子もかわいいです。



上手くできるかどうか、始まり前にはとても不安でしたが、先生の教え方がとても良くて、すごく良い成果ができて嬉しいです！



初めての練り切り体験だったんですが、先生が優しく教えてくださってとても作りやすかったです！事前に材料や道具も準備されていてすごく楽でした。元々料理やハンドクラフトなどが好きだったので今後もこういう教室が増えて欲しいです！楽しい時間でした。

お箏教室 ・ 公開講演会

お箏教室

お箏は日本の伝統的な楽器で、千年以上前に中国から伝わり日本の風土にあわせて独自に進化しました。「源氏物語」などの古典文学作品にも登場します。生田流と山田流に分かれていて、爪の形や弾き方が異なります。



国際教育センターでは2015年度後期からお箏教室を始めました。部員のみなさんが「飛躍」や「三段の調」などの演奏を聞かせてくださったり、みんなで「さくら」を演奏したりしました。

当日の様子



箏曲部の方が参加者たちにお箏を教えています。



参加者たちは箏曲部の部員と一緒にお箏の演奏をしています。

参加者の声

※参加者の声をそのまま掲載しています



初めて本物のお箏を見て、実際にやってみる機会ができて、すごくいい活動でした。部員のみなさんも優しく弾き方を教えてくれて、短い時間でお箏を弾けるようになって嬉しかったです。お箏の音もきれいで、楽しかったです！

公開講演会

国内外から先生方をお招きし、日本語教育、日本文化理解、異文化理解などについて講演会を開催しています。

2024年度は大集エヴァ先生（慶應義塾大学専任講師）をお招きし、「グローバルな視点、個の変革：留学がもたらす力」というテーマでご講演いただきました。



2024年度国際教育センター日本語コース秋学期 学内編成

グローバルな視点、個の変革：留学がもたらす力

日時 2024年11月22日(金) 13:20~14:50 *参加無料

場所 共通講義棟2号館201

講演要旨
この講演では、26年前にエジプトから日本人留学し、その後のキャリアと生活にどのような影響を与えたかについてお話しします。留学という経験が、いかにして個人の視点を広げ、内面的な変革をもたらしたか、さらに国際的なキャリアを築く力となるかを具体的なエピソードを交えて紹介します。留学は単なる学びの場を超え、個人の内面的成長や視野の拡大を促す力を持っています。私の経験を基に、異文化交流の重要性と、それらから教訓の可塑性について考えを喚起することを伝えたいと思います。

講師 大集エヴァ(慶應義塾大学専任講師)
1997年、エジプトから日本の女子大学に卒業。東京大学大学院修士課程・博士課程修了（認知心理学）。東京国際大学非常勤講師、国際経営科大学非常勤講師として勤務。2019年から2020年度までNPOの代表としてアジア諸国を巡回して講演を行い、2023年度の国際経営大学専任講師としてアジアとアジア社会を専攻。著書に「留学でアジア」(2012年)、「アジア諸国に渡る」(2021年)、「From 留学でアジア」(2023年)、著書と合わせて海外でアジア講師、(本邦) 2社勤務。

お問合せ先 global-kyouru@ecc.osaka.ac.jp

参加者の声

※参加者の声をそのまま掲載しています



留学と聞くと言葉は通じるのかなどとか、文化・環境が違ってたいへんでないかな？と思ってしまっけど、お話を聞いて留学でプラスに変わる面をたくさん知ることが出来た。違いは壁ではなく翼だという言葉がとても素敵だった。(日本人学生)



とても貴重な経験でしたし、自分とはまったく違う国や文化を持った大先輩の先生のお話を聞くことができてとても楽しかった。内容も充実していて、留学中の感情面について共感できることがたくさんあります。先生のいくつかの経験は私の頭の中で深い印象を残して、自分の未来もいくつかの選択の上で参考にすることができます。ありがとうございました。(留学生)

外国人ネイティブと学ぶ外国語講座

お茶の水女子大学には、約200人の留学生が在籍しています。そこで国際教育センターでは、(1) 国際的人材の育成、(2) 留学生と日本人との交流、(3) 留学生の社会貢献の場の提供を目的とし、2002年より、前期と後期に「外国人ネイティブと学ぶ外国語講座」を開催しています。昼休みを利用し、発音や挨拶、簡単な日常会話などを学びます。参加者のみなさんにとって、外国語の学習のみならず、異なる言語や文化、考え方や価値観の理解を深めるよい機会になっており、また講師を務める留学生のみなさんにとっても、日本での貴重な経験となっているようです。2024年度前期は「タイ語講座」を実施しました。



外国人ネイティブと学ぶ外国語講座

前期

参加者の声

※参加者の声をそのまま掲載しています



タイの文化をネイティブの方から教えてもらってとても興味深かった。タイ語の発音や文字が難解すぎて驚いた。タイの伝統的な踊りがとても面白かった。一つ一つの動作が単語と結びついている踊りは初めて知った。時折もらったタイのお菓子が不思議な味と食感で新鮮だったが美味しかった。最後まで親切に教えてくれてありがたかった。(日本人学生)



タイ語を学びたいことをずっと思っていたがなかなか機会がなかった。今回タイ語講座に参加できて非常に嬉しかった。本講座を通じてタイ語の会話を学ぶことができた。9月末にタイへ行った時に教えたタイ語を実際に話してみても、タイ人と簡単な会話ができる。またタイ語講座を開いてほしいです！(留学生)

講師の声



お茶大に入学する前に、日本とタイの架け橋としてタイの文化や言語などを日本人に教えたりしたかったです。今学期、「タイ語講座」を行う機会をいただき、とても良かったです！最初に、日本人にタイ語を教えるのは初めてですので、教壇に立った時とても緊張しました。しかし、参加者の皆さんは真面目に授業内容を聞いたり、ペアワークで会話練習に協力したりしていただいたため、その緊張感は徐々になくなりました。参加者のみなさんのおかげで、授業を進めることができました。また、日本人のお茶大生にタイ料理やタイ舞踊などのタイ文化を少し広めることができるとてもうれしいです。このような機会を与えていただき誠にありがとうございます。

ねん どこうき 2024年度後期は「ベトナム語講座」を実施しました。
ここうざ じっし

外国人ネイティブと学ぶ外国語講座



参加者の声

※参加者の声をそのまま掲載しています



ベトナム語が漢字由来のことや、声調があること、アルファベットを使っていることをこの授業で初めて知りました。また、買い物の文化や、おすすめの観光地についても教えてもらい、ベトナムに行ってみたくくなりました。相手の年齢によって一人称や二人称が変わるのも、面白いと感じました。(日本人学生)



ベトナムのスイーツに興味を持ちました。基本文法や、よく使う表現について学ぶことができました。アルファベットの読み方、あいさつを毎回扱っていただけると理解がスムーズになると思いました。ベトナム語を教えてくださいありがとうございました。(日本人学生)

後期

講師の声



2024学年の後期に最も思い出深い出来事は、ベトナム語講座です！

この講座を通じて、教えるスキルを身につけるだけでなく、文化交流を促進する大切な機会にも恵まれました。学生の皆さんが積極的に授業に参加してくださったおかげで、授業がスムーズに進み、私自身も講師としてのやりがいを感じることができました。

学生の皆さんの学びへの意欲は、私にとって大きな励みとなり、毎回の授業が充実したものになりました。

また、この経験は私の今後の進路においても非常に意義深いものとなりました。現在、日本語教育を学んでいますが、この講座を通して、言語教育だけでなく、交流の可能性や、自分がその架け橋となれることの意義を実感しました。この経験を糧に、さらなる成長を自指して努力してまいります。

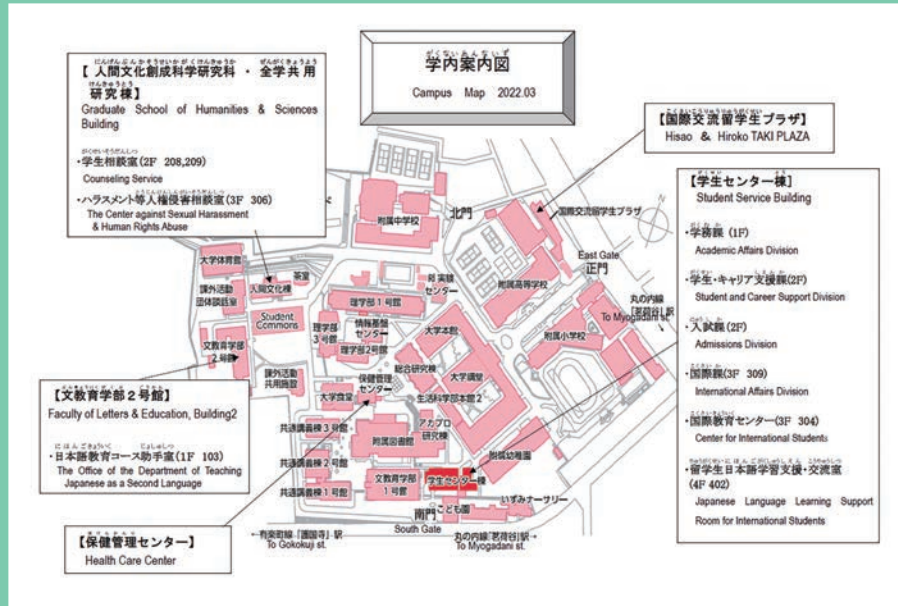
Xin chân thành cảm ơn! 誠にありがとうございました！

ねんかん 年間 スケジュール

	ぶんかきょうしつ 文化教室	がいこくごこうざ 外国語講座	こうかいこうえんかい 公開講演会
5 がつ May	<ul style="list-style-type: none"> ● まんが教室 ● きもの教室 ● 書道教室 		
6 がつ June	<ul style="list-style-type: none"> ● 生け花教室 ● 歌舞伎勉強会 ● ゆかた教室 	● 前期外国語講座	
7 がつ July	<ul style="list-style-type: none"> ● 茶道教室 		
10 がつ October	<ul style="list-style-type: none"> ● 練り切り教室 		
11 がつ November	<ul style="list-style-type: none"> ● 香道教室 ● きもの教室 ● オチャス 	● 後期外国語講座	● 公開講演会
12 がつ December	<ul style="list-style-type: none"> ● 生け花教室 ● お箏教室 ● 茶道教室 		
1 がつ January			● 国際学生 シンポジウム
2 がつ February			

※開催スケジュールは、年度によって開催の時期が異なります。

こくさいきょういく しょうかい 国際教育センターの紹介



こくさいきょういく ねん
国際教育センターは、2001年
がつ がくないきょうどうきょういくけんきゅう し せつ
4月に学内共同教育研究施設とし
せつち
て設置されました。

センターの国際教育(留学生
うけいれ ぶもん だいがくいんにゅうがく
受入)部門では、①大学院入学
まえ よび きょういく がくぶ だいがくいん
前の予備教育、②学部・大学院
まな りゅうがくせい たい にほんご
で学ぶ留学生に対する日本語・
にほんぶん かきょういく りゅうがくせい きょういく
日本文化教育、③留学生の教育
けんきゅう しどう しゃかいせいかつじょう なや
研究の指導や社会生活上の悩み
たいい じょげん うい
に対する助言など、受け入れか
ら帰国までの一貫した教育指導
えんじょ にほんじんがくせい そうごう
援助、④日本人学生との相互交
りゅうたいせい こうちく おこな
流体制の構築を行っています。

こくさいきょういく
国際教育センター・ホームページ
<https://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/>

ぶん かきょうしつ
文化教室
https://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/j/menu/events/cul_school.html

がいこくじん まな がいこくごこうざ
外国人ネイティブと学ぶ外国語講座
https://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/j/menu/cul_exchange/native.html

こうかいこうえんかい
公開講演会
https://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/j/menu/cul_exchange/l_meeting.html

へんしゅうこうき 編集後記にかえて

こんかい さっし おお かた きょうりやく ささ ぶん かきょうしつ つづ あた かん
今回この冊子をまとめてみて、多くの方のご協力に支えられて文化教室が続いてきたことを改めて感じま
した。文化教室の発足時から、常に支援してくださるセンターの先生方、いつも心を込めて教えて下さる文
かきょうしつ せんせいがた ことら こ おし くだ ぶん
化教室の先生方、アシスタントの方々々に心から御礼申し上げます。

こくさいきょういく い へすく りゅう やりん にわた ゆみえ かない ようこ
国際教育センター 李 惠淑 劉 椰林 庭田 由巳江 金井 陽子

はつ ちや みすじょ し だいがくこくさいきょういく
発行：お茶の水女子大学国際教育センター

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学学生センター棟3階304
TEL 03-5978-5965

せいほん いんさつ こうさんかぶしきがいしゃ
製本・印刷：よしみ工業株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 本郷宮田ビル3階
TEL 03-5802-5601 FAX 03-5802-5603